

部課名		議会事務局											
課の使命		<ul style="list-style-type: none"> <li>・議会の権能を十分に発揮できるよう市議会を補佐する機関として、円滑な議会運営に努めます。</li> <li>・市民の代表である市議会議員の議員活動をサポートすると共に、正確で迅速な議会情報を広くわかりやすく提供していくことで、市民・議員(来市される他市の議員を含む)・行政など幅広い顧客の信頼へとつなげていきます。</li> </ul>											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定				中間確認		年度末確認							
順位	計画類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
1	-	議場見学の推進	小学3年生の社会科見学等を受け入れます。また、受け入れに際しては、安全・安心な議場見学ができるように、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の類型変更など、状況に応じた対応をしていきます。	議場の見学者数	3,300人	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校社会科見学について、関係部署と日程調整を重ね、積極的に受け入れています。上半期の受入件数は、16校(1,430人)です。</li> <li>・8月に「夏休み子どもフェア」での小学生による議場体験(28人参加)を開催しました。</li> <li>・9月末時点の議場見学者数は1,758人です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校社会科見学の下半期の受入件数は、21校(1,629人)の予定です。</li> <li>・11月に「高校生と町田市議会議員の意見交換会」、12月に「まちカフェ！」を開催する予定です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校社会科見学の年間受入数は、37校(3,087人)となりました。関係部署や小学校と事前調整を行い、各小学校が見学日程や行程を組みやすくなるように、柔軟に対応し、昨年度(2022年度)に比べて、4校(284人)増加しました。</li> <li>・若い世代の市議会に対する関心が高まるように、「夏休み子どもフェア」での小学生による議場体験(小学生28人参加)や「高校生と町田市議会議員の意見交換会」(高校生36人参加)を開催しました。</li> <li>・「まちカフェ！」で、議場コンサート及びオペラを開催しました。</li> </ul>	3,435人	B	B:当初の目標を上回る成果が上がったためです。	若い世代の市議会に対する関心を高めていくため、引き続き関係部署と連携し、小学校社会科見学等の受け入れを実施していく必要があります。
2	-	情報発信の研究	SNS・ホームページの活用等、他自治体の取り組みなどを研究していきます。あわせて、社会情勢等の変化に応じ、速やかな情報発信を継続できるよう研究していきます。	情報発信の検証・研究	検証・研究の実施	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市議会だよりの効果的な配布のため、配布拠点となっている施設等に対し配布状況の調査を行いました。</li> <li>・X(旧名称:Twitter)での投稿について、ホームページ上の中継配信ページにアクセスしやすくするため、投稿に中継配信ページのURLを記載するよう運用を変更しました。また、行政視察の受け入れに関するXでの投稿についても、これまでの文字を基本とした投稿を見直し、写真と文字を組み合わせた画像を用いて投稿するよう運用を変更し、わかりやすい情報発信に努めました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月に「都立小川高等学校と町田市議会議員の交流授業」を開催する予定です。</li> <li>・配布状況の調査の結果に基づき、効果的な配布方法について研究していきます。</li> <li>・引き続き、ホームページ、SNSでのより効果的な発信方法を研究していきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・X(旧名称:Twitter)での投稿について、ホームページ上の中継配信ページにアクセスしやすくするように運用を変更しました。また、文字を基本とした投稿を見直し、写真と文字を組み合わせた画像を用いて投稿するよう運用を変更し、1年間を通してわかりやすい情報発信に努めました。</li> <li>・10月20日に、都立小川高等学校の交流授業(高校生260人参加)に議員が参加しました。議員が学校の授業に参加するのは初の取組であり、質疑応答など交流を通じて、町田市議会の活動について高校生と情報交換を行いました。</li> <li>・第6回高校生と町田市議会議員の意見交換会について、より多くの方知っていただけるよう、新たな取組として意見交換会のダイジェスト動画を町田市議会ホームページ及び町田市公式YouTubeチャンネルに掲載しました。また、プレスリリース配信サービスでイベントを周知した結果、複数のWebメディアに掲載され、広く情報発信することができました。</li> <li>・2023年度の第2回市政モニターにおいて、町田市議会の広報活動手段についてアンケート調査を実施しました。</li> <li>・12月から2月に実施した議場システムの更改により、2024年第1回定例会以降、字幕表示の開始や、議場・委員会室カメラのデジタル化に伴う議会中継映像の画質向上等、議会傍聴・視聴の環境の質が向上しました。</li> </ul>	検証・研究の実施、発信方法の改善	B	B:当初の目標を上回る成果が上がったためです。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市政モニター等での調査結果等を参考に、今後もより効果的な情報発信の方策を研究していく必要があります。</li> <li>・議場システムの更改に伴い、正確かつ効果的・効率的に運用できるよう業務を見直していく必要があります。</li> </ul>

順位	計画 類型	取組項目	年度目標設定			中間確認		年度末確認					
			具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評価	評価の 視点	課題と対応
3	-	業務の効率化	課内の事務事業を見直し、課題の発見や改善案を検討し、業務を平準化、効率化するための取組を行います。	①課題・改善の提案件数 ②業務効率化の取組件数	①5件 ②3件	○	課内の事務事業を見直し、以下の5件について、業務効率化の改善案を提案・検討しました。 ・行政視察受け入れに関する業務の効率化 ・窓口業務の見直しによる業務効率化 ・課内の業務分担の見直しによる業務効率化 ・各種業務マニュアルを整備し、共有することによる業務効率化 ・保存資料を整理し、一覧を作成することによる業務効率化  このうち、以下の2件に取り組み、業務を効率化しました。 ・行政視察受け入れに関する調整業務について、管理台帳の更新を一部自動化し、業務を効率化しました。 ・窓口業務を当番制とし、当番以外が通常業務に集中できる環境を確保することで業務を効率化しました。	引き続き、上半期に提案した改善案に取り組み、業務の効率化に努めます。	業務効率化の改善案を年間で以下の5件について、提案・検討し、全てに取り組みました。  ・行政視察受け入れに関する調整業務について、管理台帳の更新を一部自動化し、業務を効率化しました。 ・窓口業務を当番制とし、当番以外が通常業務に集中できる環境を確保することで業務を効率化しました。 ・課内の業務分担の一部を、各係の他業務との関連性等を考慮した分担に見直しました。また、市議会だよりの発送準備等の単純作業は課全体で取り組むことで作業時間を短縮し、業務を効率化しました。 ・整備した庶務業務マニュアルを担当者間で共有し、定型業務における作業効率を高めました。 ・保存資料の整理と一覧の作成により、参考資料の閲覧や文書整理を行いやすくしました。	①5件 ②5件	B	B:当初の目標を上回る成果が上がったためです。	引き続き、事務事業のさらなる改善に向け、既存業務の効率化を行っていきます。

部課名		議会事務局議事担当											
課の使命		・議会の権能を十分に発揮できるよう市議会を補佐する機関として、円滑な議会運営に努めます。 ・市民の代表である市議会議員の議員活動をサポートすると共に、正確で迅速な議会情報を広くわかりやすく提供していくことで、市民・議員(来市される他市の議員を含む)・行政など幅広い顧客の信頼へとつなげていきます。											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
1	-	本会議業務の効率化	本会議のマニュアルを検証し、効果を確認します。課題を洗い出し、マニュアルを改良します。	本会議マニュアルの効果検証	効果の検証	○	第2回定例会及び第3回定例会において、本会議マニュアルの効果を検証しました。	地方自治法改正(令和6年4月1日施行)に伴う国等への意見書のオンライン提出等の動向を注視し、さらに検証を行います。	1年間通じて本会議マニュアルの検証を行い、マニュアルの改良を行いました。本会議マニュアルとそれぞれの業務マニュアルの紐づけを行い、当初は2024年度完成予定だった本会議マニュアルを完成させました。12月に衆・参議院からの意見書のオンライン提出方法が示されたので、他市を調査し、現状との比較を行い、意見書のオンライン提出の業務の効率化につながるかについて研究しました。	本会議マニュアルの効果の検証、内容の調整・最終版の完成	B	B:当初の目標を上回る成果が上がったためです。	今後も国等のデジタル化の動向等の社会情勢の変化を受けて、内容を随時検証し、更新していきます。
2	-	オンライン視察業務の効率化	オンライン視察マニュアルを検証し、効果を確認します。課題を洗い出し、マニュアルを改良します。	オンライン視察マニュアルの効果検証	効果の検証	○	オンライン視察と現地へ来訪する視察との比較を行い、課題を洗い出し・効果の検証を行いました。	オンライン会議システムを使用して、模擬オンライン視察を事務局職員で実施し、さらなる課題の洗い出しを行います。	11月に実施した事務局職員による模擬オンライン視察によってオンライン視察のマニュアルの効果の検証、内容の調整を行い、当初は2024年度に完成予定だった最終版のマニュアルが完成しました。	マニュアルの効果の検証、内容の調整・最終版の完成	B	B:当初の目標を上回る成果が上がったためです。	今後も社会情勢の変化等を受けて、内容を随時検証し、更新していきます。
3	-	オンライン委員会の円滑な業務遂行新議場システムのスムーズな移行 ※第17期議会改革調査特別委員会で実行に向けて具体的な協議が進み、マニュアル作成を急いで行ったため、今年度予定されている議場システムの更改に向けたマニュアル作成に変更しました。	オンライン委員会のマニュアル案を作成します。3月定例会での新議場システム稼働に向け、仕様の検討とシステム業者との詳細要件の打合せ・保内での検討を行い、操作マニュアルを作成します。 (新議場システムとは、議場、委員会室の音響映像設備及びその他附帯設備のことです。) ※第17期議会改革調査特別委員会で実行に向けて具体的な協議が進み、マニュアル作成を急いで行ったため、今年度予定されている議場システムの更改に向けたマニュアル作成に変更しました。	オンライン委員会のマニュアル案の作成 新議場システムの操作マニュアルの作成	マニュアルの作成	○	議員からのリクエスト項目を含め、局内で仕様の検討を行い、担当部に要求しました。8月のシステム業者決定後からは詳細要件の検討を行いました。9月26日に議員への新議場システムの説明会を開催しました。	引き続き、新議場システムの詳細要件の検討を行います。また、必要に応じて、操作手順の確認やマニュアルの作成を行います。	1年間通じて新議場システム稼働に向け、仕様の検討やシステム業者との打合せを重ねました。2月上旬に新議場システムに係る工事が完了し、2月下旬から始まる3月定例会に向けて、操作マニュアルの作成を行いました。	マニュアルの作成	C	C:目標水準を達成したためです。	マニュアルの効果検証や内容の調整が必要です。